

科目名	経済政策 B
担当者	福島淑彦
配当学期	秋学期
単位	2 単位
授業概要	<p>アダムスミスはその著書「国富論」(An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations, 1776 年刊)の中で、「自由競争によって「神の見えざる手」が働き、最大の繁栄がもたらされる」と主張した。確かに市場メカニズムがうまく機能すれば、効率的な資源配分が達成されることはその後の研究で解明されてきた。しかし、現実には様々な不確定要因があり、効率的な資源配分そのものが達成されない場合も多く存在する。また、たとえ効率的な資源配分が達成されたとしても、そのことが必ずしも「経済の安定・成長」、「公平な所得分配」を意味するものではない。経済政策は市場メカニズムの不完全性を補い、「市場の失敗」を少しでも是正することによって「人々の生活をよりよくすること」を目的としている。本講義は、市場メカニズムのみでは解決困難な三つの問題、即ち、「効率的な資源配分」「経済の安定・成長」、「公平な所得分配」のために必要な経済政策を検証し、最終的には、「人々の生活がより豊かになるための政策」のあり方を検討することを目的とする。</p>
授業の到達目標	<p>経済政策は、大きくマクロ経済政策、ミクロ経済政策、所得再分配政策の3つに分類することができる。マクロ経済政策の目的は「物価の安定、完全雇用の実現、経済成長の促進」であり、ミクロ経済政策の目的は「効率的な資源配分の達成」である。所得再分配政策の目的は「公平な所得分配の達成」である。本講義(経済政策 B)では、はじめに経済政策の分析に必要な経済学の基礎理論を学ぶ。その後、ミクロ経済政策及び所得再分配政策それぞれの経済効果について理論的に検証・分析していく。加えて、これまで行われてきた(ている)ミクロ経済政策及び所得再分配政策について検証していく。さらに、情報の不完全性と経済政策との関係、政策決定プロセス(Political Economics)と経済政策についても考察を加えていく。</p>
授業計画	<p>(I) イントロダクション (第 1 回講義) (II) 経済政策分析のための経済学の基礎理論 (第 2 回講義～第 4 回講義) (III) ミクロ経済政策 (第 5 回講義～第 7 回講義) (i) 公共財 (ii) 外部性 (iii) 教育 (iv) 費用便益分析 (v) 社会保障 (IV) 所得再分配政策 (第 8 回講義～第 10 回講義) (1) 貧困者への救済 (2) 税と所得分配 (3) 税と効率性 (V) 情報と経済政策 (第 11 回講義～第 12 回講義) (VI) 政策決定プロセス(Political Economics)と経済政策 (第 13 回講義～第 14 回講義) (VII) まとめ (第 15 回講義)</p>
教科書	Rosen, H. S. and T. Gayer, 2010, <i>Public Finance (9th Edition)</i> , McGraw-Hill Companies, ISBN9780071267885
参考文献	<p>岩田規久男・飯田泰之「ゼミナール 経済政策入門」日本経済新聞社 A. L. ヒルマン 著、井堀利宏 監訳「入門 財政・公共政策 政府の責任と限界」勁草書房</p>

	中村慎助他編著「公共経済学の理論と実際」東洋経済新報社 但し、必要に応じて、授業で参考書・文献リストを追加する。	
成績評価方法	割合	評価基準
	試験 0 %	
	レポート 0 %	
	平常点評価 70 %	Assignment 毎回課題 (Assignment) を課し、それを提出して頂きます。提出された課題に対する解答が提出されたことを前提に講義を進めていく。
	その他 30 %	プレゼンテーション 講義の最後に受講生一人一人にプレゼンテーションが行う。テーマは講義と関連のある経済問題を一つ取り上げ、その経済問題に関する分析をプレゼンテーションという形で報告していただく。
関連 URL		
備考		